

相原中村町内会自主防災隊（町田市）

隣近所のネットワークづくりから生まれた「顔の見える防災」

【取組概要】

- 物資などのハード面よりも住民のつながりなどソフト面を重視した組織づくりを目指す
- 組織を10～15世帯からなる24の班に分け、各班で班内の世帯員の情報を「防災カード」にまとめる
- 建築・水道・電気・土木など専門の技術を持った町内会員による応急対策チームを設け、災害時に安全に対応できる体制を確保
- 毎月定例で防災の勉強会を開催し、本部員のスキルアップを図る



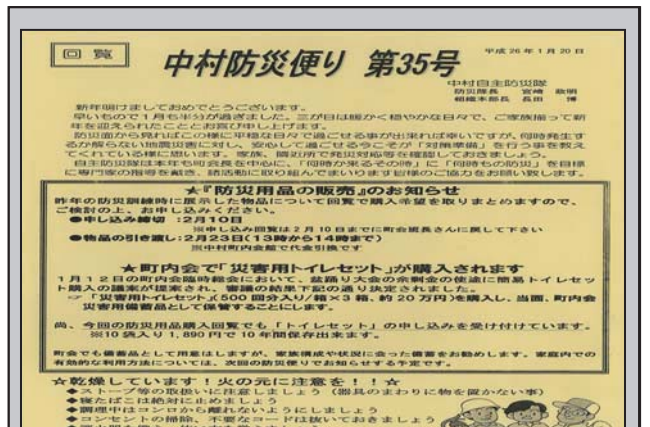
救出救護訓練



応急救護訓練



バケツリレー訓練



防災便り